・化学ぞうきんを長い間接触させたままにしておくと、変色したり、表面がはげたりする事がありますのでご注意してください。

②金属部

・毎日のお手入れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。
・汚れのひどい時は、中性洗剤を３～５％位にぬるま湯で薄め、柔らかい布をひたし、よく絞って拭き取ってください。そのあと水で浸した布で洗剤液をよく拭き取り、柔らかい乾いた布で軽く拭いたあと、自然乾燥させてください。最後に潤滑油を薄く塗り、柔らかい布で拭き取ってください。

お問い合わせ先

株式会社 良品計画

〒170-8424　東京都豊島区東池袋４－２６－３
0120-14-6404
■平日　10:00～21:00
■土・日・祝　10:00～18:00

取扱説明書

収納家具類

この度は、無印良品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
この商品を末永く、安全にご使用頂くために、この「取扱説明書」をよく読み正しくご使用ください。
また、これらを保管し必要な時にお読みください。

目　次

1. 収納家具の置き方
2. 使用上の注意
3. 保守・点検
4. 手入れ方法

株式会社良品計画

Ⓔ　EXPLANATORY NOTE / CHEST & WARDROBE

1 収納家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・床・天井等に固定用金具や固定部材でしっかりと固定してください。
又、家具の上に物を置くと落ちてケガをしたり床面のキズや破損の原因となる事があるので、置き方にご注意ください。
②高温多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気がながれる様、壁から少し離し、ときどき部屋の換気に心がけてください。
③直射日光や熱・冷暖房機の強風などが直接あたらない様にしてください。
家具が変形、変色又火災の原因となる事があります。
④家具は、水平に保つように置いてください。不安定なまま使っていると、扉の開閉や引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具がこわれたり、ケガをする原因となる事があります。
⑤床面がフローリングや畳などの場合は、敷物などを敷いて使用してください。
床面のキズ防止になります。
⑥床面がクッションフロアーの場合は、敷物などを敷いて使用してください。
木部の塗料と床面との反応による汚れ防止になります。

2 使用上の注意

①家具の上に立ったり、とんだり、踏み台代わりに使ったり、腰掛けたりしないでください。安定をくずし、倒れてケガや破損する事があります。
②引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。
家具が倒れてケガや破損する事があります。
又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。
重心が前に移り転倒し、ケガや破損する事があります。
③引出しが付いている場合、これをいっぱいに引き出すと、抜け落ちてケガや破損する場合があります。
④木材の接着剤等（ホルムアルデヒド）が残っている家具で、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす事がありますので、換気を十分にして（ホルムアルデヒドを）取り除く様にしてください。
特に乳幼児の衣類などを収納される場合は、ポリ袋やビニール袋等にいれたままの状態で収納してください。
⑤取りはずしのできる棚は、棚受具を確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。
⑥家具を移動する時は、落としたり、倒したりして、物を壊したりケガをする事がない様に、大人二人以上で手でしっかりと持って運んでください。床面のキズや破損の原因となる事があります。
⑦可動部のある家具は、その操作で手を挟んだりしない様に充分注意してください。ケガをする事があります。
⑧つき板やムク板仕様の天板等に直接熱いものやぬれたものを置いたり、ビニール等で長時間おおって使用しないでください。ヒビが入ったり又塗装が変色したり、つき板がはがれる事があります。
⑨天板、棚等の上に灰皿や食器等、底のザラついた物を直接置いて引きずったりすると傷がつく事がありますのでご注意ください。
⑩扉の開閉時には、扉の動く範囲に人がいないか、物が置かれていないか確認してください。
⑪電気製品等を収納する場合は、充分に隙間をあけて通気性をよくしてご使用ください。電気製品の故障や火災の原因となります。
⑫食器戸棚その他ガラスを使用している家具は乱暴な取扱いはしないでください。ガラスが割れ、ケガをする事があります。
⑬食器戸棚やレンジ台等についているフラップ扉の上に乗ったり、腰掛けたりしないでください。転倒してケガや破損をする事があります。

3 保守・点検

①ネジ、蝶番や金具類は、ゆるみやグラツキがないか時々点検し、ゆるみはじめたら、しっかり締めなおしてください。
ケガや破損、床面の傷の防止になります。
②虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。
放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
③修理及び改造はしないでください。製品の強度をよわめケガをする事があります。

4 手入れ方法

①木部
・毎日のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
・汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤液を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤液をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

無印良品

スタッキングシェルフ 2段・3段・5段【共通】

組立・取扱説明書 保存用

この度はスタッキングシェルフをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
この商品を末永く安全にご使用いただくために、本書をよくお読みいただき正しく組み立て及び使用をしてください。また、本書はいつでも取り出せるように大切に保管してください。

⚠注意 組み立ての前に前に必ずお読みください。

※組み立てに十分なスペースを確保し、敷物等をして床や既存の家具に傷が付かない様、注意して行ってください。
※組み立ては必ず2名以上で行ってください。

⚠危険 ご使用上の注意

※移動させるときは必ず分解した状態でお運び下さい。
※貴重品やこわれやすいものを載せないで下さい。

⚠注意 取り付け上のご注意

※本体を起こす際は、商品に傷が付かない様、敷物等をして保護してください。
※ご使用後、一週間程経過しましたらボルトをきつく締め直してください。
※ボルトやスチールパイプにゆるみがないか定期的に点検し、安全をご確認の上ご使用ください。

⚠警告 警告（危険ですので必ずお守りください）

※小さなお子様が登ったり遊ぶことは大変危険ですのでおやめください。
※本体転倒によるケガや物品破損のおそれがあります。

■〔基本セット〕パーツチェックリスト

01 側板×1	02 側板（天板仕様）×1	03 仕切り板	04 スチールパイプ	05 ジョイントナット	06 ボルト	07 六角レンチ×1
貫通穴	表面 鬼目ナット 側面穴加工 裏面	2段×3 3段×4 5段×6	2段×6 3段×8 5段×12	×4	2段×6 3段×8 5段×12	（M4）

08 フェルト	09 転倒防止用補助金具×2	10 皿ビス×4	11 丸ビス×2	12 ワッシャ×2	13 両面テープ×2
2段×4 3段×4 5段×6					

〔基本セット組立順序〕※パーツチェックリストをご覧の上、各パーツを確認してください。

1 敷物などの上に 02 側板（天板仕様）を裏返しにおき、05 ジョイントナットのジョイント部が上に来るように側面の穴（➘部分）に差し込みます。

02

※ジョイントナットの穴が上の穴と重なるように六角レンチを使って調節します。

05

2 04 スチールパイプを 05 ジョイントナットと鬼目ナットにねじ込みます。

3 03 仕切り板の穴を 04 スチールパイプに通します。
仕切り板は最後に軽くたたきこんでください。

※仕切り板が引っかかる場合には、付属の 07 六角レンチで探りながら通してください。

4 01 側板の貫通穴と 04 スチールパイプの位置を合わせて 01 側板を乗せます。01 側板をはさんで 04 スチールパイプに 06 ボルトをねじ込み、07 六角レンチを使ってしっかりと締め込みます。
設置する際には、底になる面に 08 フェルトを貼ってください。

組み立てた商品を分解する際は 1 ～ 4 の手順を逆に行ってください。

5 09 転倒防止用補助金具を取付けます。（別紙参照）

■〔追加セット〕パーツチェックリスト

01 側板×1	02 仕切り板	03 スチールパイプ	04 六角レンチ×1	05 フェルト×2
貫通穴	2段×3 3段×4 5段×6	2段×6 3段×8 5段×12	（M4）	

〔基本セット+追加セットの組立順序〕※パーツチェックリストをご覧の上、各パーツを確認してください。

1 〔基本セット〕を左記 **4** の工程まで進めるか、スタッキングシェルフの側板を固定している基本セット用 06 ボルトを 04 六角レンチを使って取り外します。

2 基本セット用 06 ボルトがねじ込んであった箇所に、追加用の 03 スチールパイプを手でねじ込みます。
左記 **3** の要領で仕切り板を組み立てます。
※全てねじ込んだ後、もう一度きつく締まっていることを確認してください。

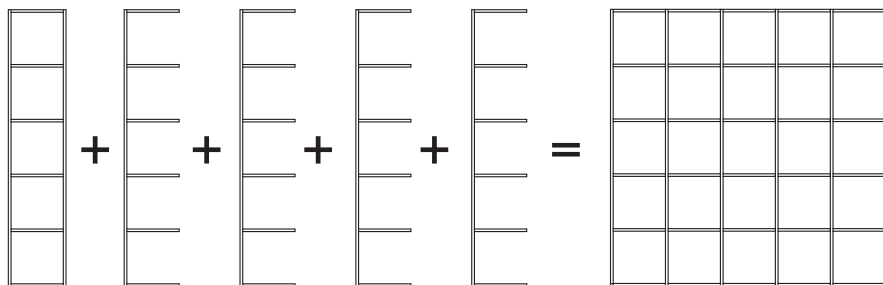
3 左記 **4** の要領で追加用 01 側板をはさんでボルトをねじ込み 04 六角レンチを使ってしっかり締め込みます。
※全てねじ込んだ後、もう一度きつく締まっていることを確認してください。
設置の際、底になる面に基本セット用 08 フェルトを貼ってください。
タテのまま横方向に連結していく際は 05 フェルトを各側板下にご使用ください。

組み立てた商品を分解する際は 1 ～ 3 の手順を逆に行ってください。

⚠警告 警告（危険ですので必ずお守りください）

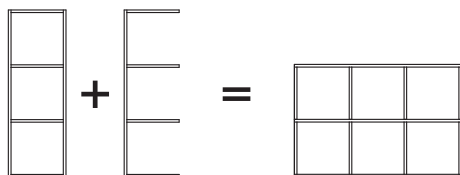
※小さなお子様が登ったり遊ぶことは大変危険ですのでおやめください。
※本体転倒によるケガや物品破損のおそれがあります。

⚠ 取扱上の注意

組み合わせ例と耐荷重

基本セット5段×1＋追加セット5段×4

本体をタテのまま横方向に連結していく組み合わせ方法です。

耐荷重：全体150kg ＝ 60kg × 5本 ÷ 2

組み合わせて使用する際の
全体耐荷重 ＝ セットの耐荷重 × 本数 ÷ 2

基本セット3段×1＋追加セット3段×1

本体をヨコにして上へ連結していく組み合わせ方法です。

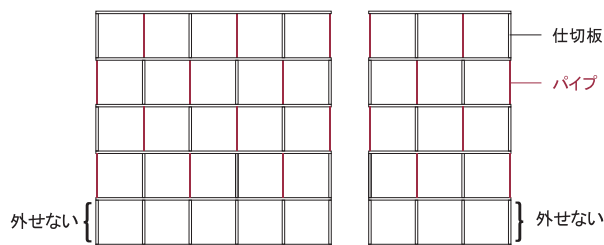
耐荷重：全体40kg ＝ 40kg × 2本 ÷ 2

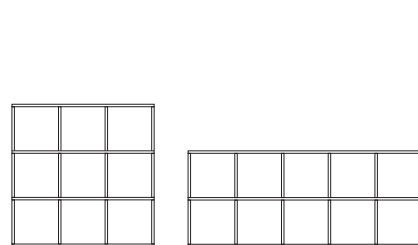
組み合わせて使用する際の
全体耐荷重 ＝ セットの耐荷重 × 本数 ÷ 2

※積み重ねて5段まで使用できます。

※耐荷重は全体に均等な荷重を掛けた際の目安です。
上部に偏った荷重をかけるのはおやめください。
（上部に偏った荷重をかけると、
ゆれや転倒が起こりやすくなり、危険です。）

使い方例

■棚板を外してスチールパイプのみで使う

ヨコにして積み重ねた時は、下から2段目以上の列の仕切板をひとつ飛ばしに外にしてお使いいただけます。
※上図の通り、必ず両端のどちらかには仕切板が残るようにしてください。
※パイプをつかんで引っ張ったりしないでください。

■パーテーションとして使う

3段までの高さであれば、転倒防止用補助金具の取付けなしに連結してパーテーションとしてお使いいただけます。この際、仕切板は外して使用できません。

警告（危険ですので必ずお守りください）

小さなお子様が登ったり遊ぶことは大変危険ですのでおやめください。
本体転倒によるケガや物品破損のおそれがあります。